

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月1日

上場会社名 イーレックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9517 URL http://www.erec.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本名 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 花鳥 克彦 TEL 03 (3243) 1185  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,950	57.2	2,455	68.0	2,317	63.5	1,401	38.5
29年3月期第2四半期	13,965	24.9	1,461	207.9	1,417	228.9	1,012	233.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,320百万円 (159.1%) 29年3月期第2四半期 895百万円 (225.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	27.85	27.54
29年3月期第2四半期	20.37	20.01

(注) 当社は、平成29年3月7日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。  
 前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	48,768	30.9	18,194	30.9		
29年3月期	42,473	31.3	15,918	31.3		

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 15,064百万円 29年3月期 13,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,345	61.5	4,492	27.1	4,512	40.2	3,020	57.6	60.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	50,580,000株	29年3月期	50,553,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	253,246株	29年3月期	253,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	50,322,754株	29年3月期2Q	49,681,602株

(注) 平成29年3月7日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算出しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業景況感・雇用環境の改善が続き、全体として緩やかな回復基調で推移しました。一方で、金融資本市場の動向など世界経済の不確実性や、地政学的・政治リスクの高まりなど、日本経済の先行は依然として不透明な状況が続いております。

当業界においては、固定価格買取制度（FIT）の下、再生可能エネルギー発電設備の導入容量及び認定容量が増加基調にあり、再生可能エネルギーの市場は拡大及び成長していく見通しであります。小売分野においては、平成29年10月20日に電力・ガス取引監視等委員会より、平成29年7月分の電力取引の状況が公表されました。これによると、当社を含む新電力シェアは販売電力量ベースで12.5%、販売額ベースで12.6%、契約口数ベースで4.8%と着実に新電力シェアが拡大しております。

このような状況のもと、当社グループの小売事業として、低圧分野では株式会社MonotaR0と電力サービス「モノタロウでんき」、日本経済新聞販売協同組合との電力サービス「ニュースサービス日経でんき」の家庭用電力における販売等、新たなパートナーとの電力販売を開始いたしました。高圧分野では、新たな代理店の募集を再開し、お客様との接点を増やす取り組みを進めてまいりました。これら取り組みにより、電力供給施設数は、平成29年9月末時点において、高圧分野では約10,800件（前年同期比+1,400件）、低圧分野では約74,000件（前年同期比+49,000件）と順調に伸びております。

また、発電事業につきましては、イーレックスニューエナジー株式会社の土佐発電所及びイーレックスニューエナジー佐伯株式会社の佐伯発電所が継続して安定的な操業を行いました。岩手県大船渡市（大船渡発電株式会社）、福岡県豊前市（豊前ニューエナジー合同会社）におけるバイオマス発電所の建設工事についても計画通りに進んでおります。

これら取り組みにより、当社グループの当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は21,950百万円となり、前年同期比で7,985百万円増加いたしました。主な要因は、全国の代理店制度の増強に加え、各種キャンペーンやその他周辺サービスを組み合わせた販売サービスの展開により、高圧分野・低圧分野ともに顧客数が増加したことです。

一方、売上原価は17,563百万円となり、前年同期比で6,476百万円の増加にとどまりました。主な要因は、子会社の発電所2箇所がともに、順調に稼働したこと等による再生可能エネルギー発電設備からの電力調達比率の上昇による原価低減効果等です。

これらにより、売上総利益は4,387百万円となり、前年同期比で1,509百万円の増加となりました。

また、人員の増員や営業活動の増加に伴う代理店報酬の増加により、販売費及び一般管理費は1,932百万円となり、前年同期比で515百万円増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は2,455百万円（前年同期比68.0%増）、経常利益は2,317百万円（同63.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,401百万円（同38.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は21,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,200百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は27,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円増加いたしました。これは主に豊前ニューエナジー合同会社の発電設備建設に伴う建設仮勘定の増加によるものであります。繰延資産は15百万円となり、前連結会計年度末と比べ9百万円減少いたしました。これは株式交付費の償却によるものであります。

この結果、総資産は、48,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,294百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,774百万円増加いたしました。これは主に買掛金及びイーレックス株式会社の短期借入金の増加によるものであります。固定負債は16,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ755百万円減少いたしました。これは主に為替予約によるデリバティブ債務の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、30,574百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,019百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は18,194百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,275百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,401百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は30.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月9日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、平成29年5月9日に公表した業績予想は、同資料の発表日時点において当社グループが入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,973	11,280
売掛金	3,450	5,042
原材料及び貯蔵品	407	568
繰延税金資産	48	56
未収入金	3,407	3,722
その他	1,555	372
流動資産合計	14,843	21,043
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,639	3,517
機械装置及び運搬具（純額）	16,630	16,028
建設仮勘定	2,944	3,736
その他（純額）	102	101
有形固定資産合計	23,316	23,384
無形固定資産		
その他	1,669	1,665
無形固定資産合計	1,669	1,665
投資その他の資産		
投資有価証券	435	434
関係会社株式	1,390	1,381
繰延税金資産	233	285
敷金及び保証金	457	457
その他	117	128
貸倒引当金	△15	△27
投資その他の資産合計	2,619	2,660
固定資産合計	27,605	27,709
繰延資産		
株式交付費	25	15
繰延資産合計	25	15
資産合計	42,473	48,768

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,204	4,590
短期借入金	3,300	4,300
1年内返済予定の長期借入金	1,389	1,914
未払法人税等	777	870
賞与引当金	53	64
役員賞与引当金	2	3
その他	1,307	2,065
流動負債合計	9,034	13,809
固定負債		
長期借入金	11,594	11,502
退職給付に係る負債	11	23
資産除去債務	2,731	2,736
繰延税金負債	533	510
役員報酬BIP信託引当金	54	75
デリバティブ債務	2,163	1,489
その他	432	427
固定負債合計	17,520	16,765
負債合計	26,555	30,574
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,139	5,142
資本剰余金	4,526	4,529
利益剰余金	6,020	6,916
自己株式	△226	△226
株主資本合計	15,460	16,362
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△2,163	△1,304
為替換算調整勘定	—	5
その他の包括利益累計額合計	△2,163	△1,298
非支配株主持分	2,621	3,129
純資産合計	15,918	18,194
負債純資産合計	42,473	48,768

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	13,965	21,950
売上原価	11,087	17,563
売上総利益	2,878	4,387
販売費及び一般管理費	1,416	1,932
営業利益	1,461	2,455
営業外収益		
受取利息	3	2
受取手数料	2	2
雑収入	7	1
その他	5	1
営業外収益合計	19	7
営業外費用		
支払利息	47	79
持分法による投資損失	3	8
支払手数料	3	44
その他	9	12
営業外費用合計	63	145
経常利益	1,417	2,317
税金等調整前四半期純利益	1,417	2,317
法人税、住民税及び事業税	551	759
法人税等調整額	△29	△82
法人税等合計	521	677
四半期純利益	895	1,640
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△116	239
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,012	1,401

（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
四半期純利益	895	1,640
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	674
為替換算調整勘定	—	5
四半期包括利益	895	2,320
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,012	2,266
非支配株主に係る四半期包括利益	△116	53

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,417	2,317
減価償却費	179	818
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△97	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10	11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△385	—
受取利息及び受取配当金	△4	△2
支払利息	47	79
売上債権の増減額(△は増加)	△1,281	△1,592
たな卸資産の増減額(△は増加)	△112	△161
仕入債務の増減額(△は減少)	794	2,385
未収消費税等の増減額(△は増加)	12	1,218
未払消費税等の増減額(△は減少)	103	160
未収入金の増減額(△は増加)	△406	△314
未払金の増減額(△は減少)	704	724
その他	38	△3
小計	1,021	5,654
利息及び配当金の受取額	6	4
利息の支払額	△47	△79
法人税等の支払額	△384	△675
営業活動によるキャッシュ・フロー	596	4,903
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,060	60
有形固定資産の取得による支出	△6,642	△869
無形固定資産の取得による支出	△111	△70
関係会社株式の取得による支出	△1,400	—
敷金及び保証金の差入による支出	△74	△0
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,168	△878
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△4	△6
短期借入れによる収入	1,800	1,000
長期借入れによる収入	5,600	1,000
長期借入金返済による支出	△3,248	△567
配当金の支払額	△406	△505
株式の発行による収入	263	6
自己株式の取得による支出	△226	△0
非支配株主からの払込みによる収入	532	454
その他	△3	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,306	1,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,265	5,366
現金及び現金同等物の期首残高	8,405	5,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,140	11,280

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。